令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

7.716 - 32 1 11.716									
事務事業名	610 交通安全啓発事業								
予算科目	01-0	030	111-	-11 交通多	全指導推進	生に要する	経費	担当部課	建設部防犯交通安全課
市長公約								係名	防犯交通安全係
								新規・継続	継続
戦略プラン						事業分類	自治事務 (任意)		
								事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市交通安全計画							事業期間	毎年度
									11住み続けられるまちづくりを
交通安全対策基本法、道路交通法、県民交通災害共済 根拠法令等 条例					道路交通法	SDGs			

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者
目的	地域の実情や要望等に応じた交通安全教室、交通安全のキャンペーンやイベント等を開催し、交通安全の 啓発活動を行い、市民の交通安全意識の高揚及び交通事故防止の推進を図る。
概要 (取組内容)	・市内の幼児、小中学生、高齢者等を対象として、年齢層に即した交通安全教室を開催する。 ・春、夏、秋、年末の交通安全キャンペーンを開催する。 ・県民交通災害加入事務及び見舞金支給事務を行う。 ・高齢者運転免許自主返納支援事業の促進を図る。 ・各交通安全団体と連携を図り、有効かつ効果的な交通安全啓発活動を推進する。

コストの推移

項目				令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
	予算	算額	(千円)	24, 742	16, 842	15, 821	15, 764	15, 764
事	決算	算額	(千円)	23, 756	14, 868	15, 254	0	0
業		一般財源	(千円)	23, 503	14, 683	15, 254	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	253	185	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 貴計	(千円)	7,044	6, 800	6, 834	3, 580	3, 580
人		正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	0. 50	0.50
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	106. 00	0.00	0.00	67. 00	67. 00
月	10/	会計年度任用職員有無	(-)	無	有	 有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

	指標名	交通安全教室受講	者数		(人)	活動結果指標			
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		
1	目標値	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0	25, 000. 0		
1	実 績	24, 814. 0	5, 469. 0	11, 739. 0	0.0	0.0	0.0		
	指標の 概要	自転車シュミレーター教室を含む。							

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 1 \\ 4 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		交通安全キャンペーンは新型コロナ感染拡大防止のため中止としたが、交通安全教室については、感染 対策を講じながら実施した。
	成果	年4回の交通安全キャンペーン及び交通安全イベントは、新型コロナ感染拡大防止により中止したが、交通安全教室については、新型コロナ感染予防対策を行い開催し、交通安全意識の向上が図られた。
課	業務	交通安全キャンペーンについて、より効果的な実施方法を検討する必要がある。
題	組織、予算等	交通安全教育指導員が辞めた時の人材確保が課題である。
ţ	女善目標	キャンペーン物品の配布だけではなく、自転車シュミレーター等を活用したイベントを検討する。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

7 /14	17/K - 22 - 11/1K									
事務事業名	611 交通安全施設整備事業									
予算科目	01-0	0301	111-	-12 施設鏨	を備に要する	5経費		担当部課	建設部防犯交通安全課	
市長公約								係名	防犯交通安全係	
								新規・継続	継続	
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)	
								事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市交通安全計画							事業期間	毎年度	
								11住み続けられるまちづくりを		
	交通安全対策基本法							an a		
根拠法令等							SDGs			

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者
目的	交通事故を未然に防止し市民の安全を確保するため、交通安全施設の整備を図る。
概要 (取組内容)	区会等からの要望に対して、現地を確認し、必要な交通安全施設(カーブミラー・赤色回転灯・路面標示) の新設・修繕を行う。

コストの推移

		45 1E45						
項目				令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
	予算額			22, 212	23, 894	21,728	21, 728	21, 728
事	決算	草額	(千円)	21, 773	20, 347	21, 543	0	0
業		一般財源	(千円)	21, 773	20, 347	21, 543	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	FJ/ \	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	‡費計	(千円)	7, 490	7, 179	7, 199	7, 442	7, 442
人		正職員従事割合	(人)	1. 00	1.00	1.00	1. 00	1.00
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	287. 00	154. 00	150.00	250.00	250.00
月	其 武	会計年度任用職員有無	(-)	無	 有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

	指標名	新設箇所数			((件)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0. (0.0
1	実 績	116. 0	99. 0	125. 0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要	交通安全施設の必					

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
車→	と の は 田	レ課題					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
	成果	交通安全施設が必要な個所の安全対策が図られた。
課	業務	特になし
題	組織、予算等	年々要望が増えており、またカーブミラーの値段が高騰していることから予算の確保が必要となってくる。
ţ	女善目標	要望に対応できるよう予算確保に努めていく。

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	2	国、県、民間等で事業を担うことが可能である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

_____ 方向性

77 IPI III	
方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

17X 5 25 1 11 14									
事務事業名	612 地域安全活動事業								
予算科目	01-030112	2-11 防犯対	策に要する	5経費		担当部課	建設部防犯交通安全課		
市長公約	68	69				係名	防犯交通安全係		
	II -3 3 1	防犯意識。	の啓発			新規・継続	継続		
戦略プラン	II -3 3 2	地域での	見守り体制	の構築		事業分類	自治事務(任意)		
						事業体制	職員のみ		
個別計画						事業期間	毎年度		
							11住み続けられるまちづくりを		
	つくば市民	その生活安全	の推進に関			an a			
根拠法令等	1, 1			SDGs					

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者
目的	安全で安心して暮らせる地域社会を構築する。
概要 (取組内容)	・防犯・環境美化サポーターによるパトロールやジョギングパトロールを通じた地域パトロールを実施する。 ・安全安心まちづくりコンサートなど防犯イベントを開催する。 ・防犯ボランティア団体や防犯協会の活動を支援する。 ・LED防犯灯、防犯カメラの設置及び管理を行う。 ・防犯カメラ設置事業補助金の交付を行う。

コストの推移

		1 - 12						
項目				令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
	予算	算額	(千円)	146, 818	101, 390	105, 451	107, 608	107, 785
事	決算額		(千円)	141, 294	95, 883	90, 397	0	0
業		一般財源	(千円)	141, 294	95, 883	88, 897	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	1, 500	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	2, 237	7, 179	7, 199	7, 685	7, 685
人	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	1.00	1.00	1.00	1. 00
件費		正職員時間外勤務	(時間)	82. 00	154. 00	150.00	350.00	350.00
月月	10/	会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

	指標名	防犯ボランティア	団体の登録数		((団体)	活動結果指標			
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			
	目標値	115. 0	116.0	117. 0	118.0	119. 0	120. 0			
1	実 績	115. 0	111.0	111. 0	0.0	0.0	0.0			
	指標の 概要	(Ⅱ-3-③防犯意	(Ⅱ-3-③防犯意識を高め、安全・安心を実感できる生活環境づくり)防犯ボランティア団							

	指標名	ジョギングパトロ	ールの登録者数		ジョギングパトロールの登録者数 ()								
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度						
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	実 績	757. 0	811. 0	865. 0	0.0	0.0	0.0						
	指標の 概要	ジョギングパトロ	ールの登録者総数										
	指標名				()							
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度						
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	指標の 概要												
	指標名				(()							
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度						
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0						
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	指標の 概要												
	指標名				()							
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度						
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0						
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	指標の 概要												

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		不審者情報が寄せられた箇所を重点的に防犯・環境美化サポーターによるパトロールを実施した。
成果		防犯パトロール活動、自警団活動、ジョグパト活動等の防犯活動及び防犯灯や防犯カメラの設置により、 犯罪予防や抑止効果が図られた。
課題	業務	不審者情報が増加傾向にあるため、防犯パトロールの巡回を増やす必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		不審者情報が寄せられた箇所を重点に「防犯・環境美化サポーター」による防犯パトロールを強化し、犯罪等を未然に防止する。

評価

F1 IIII				
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。		
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。		
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。		
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。		

方向性

方向性	継続
理由	